

船舶投資ファンド運営の新会社が発足 みずほ証券などと連携し事業を推進

邦船オペへの裸用船を軸に船隊を供給

日本で新たな船舶投資ファンドが動き出す。船舶投資ファンドを運営する新たな会社として23日付でアンカー・シップ・インベストメント社(辻肇社長、資本金1億円)が設立された。アンカー社はみずほ証券の船舶投資銀行部や他の金融機関などと連携して船舶投資ファンド事業を推進する方針。邦船オペレーターへの船隊供給を中心として裸用船を軸としたコンセプトでのファンド組成を目指す。社長には、みずほ証券顧問の辻肇氏が就任した。

アンカー社と連携していくみずほ証券は、船舶金融が専門化・高度化する中で、先端の金融技術と業界専門知識を兼ね備えたチームを設置し、投資銀行的手法を船舶金融の分野にも積極導入することが必要と判断。昨年4月3日付で船舶投資銀行部(幸田靖久部長)を新設していた。同部は船舶投資ファンドなど新たな船舶金融商品の開発を進めている。

国内の船舶金融は制度金融の時代を経て、日本郵船や商船三井といった邦船オペレーター向けのコーポレート・ファイナンスが主流の時代が長く続いた。ここ数年は邦船オペレーターのオフバラ

ンス志向から、国内船主向けの融資が増える傾向にあり、多くの金融機関が地方船主の取り込みに動いている。

さらに最近ではシンジケート・ローン(協調融資)や船舶流動化、日本型オペレーティング・リース(JOL)といったストラクチャード・ファイナンスが急増。今後はこれらに加えて、欧米の事例などからも船舶投資ファンド、船舶保有会社IPOなど、エクイティ性の高い船舶金融市場が拡大する見通しにある。そこに着目したのがみずほ証券やアンカー社。投資家から集めた資金や銀行ローンを組み合わせることで船舶に投資するファンド事業を展開していく。

アンカー社の社長に就任したみずほ証券顧問の辻肇氏は、みずほコーポレート銀行の本店営業第七部長などを務め、旧日本興業銀行時代から船舶金融の経験が豊富にある。

アンカー・シップ・インベストメント社の事務所所在地などは次のとおり。

- ▷住所=〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-12 芝公園電気ビル
- ▷電話=03-5425-4910
- ▷FAX=03-3433-3085